

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 生活クラブあのねの家

公表日 2025年3月1日

利用児

童数 2024年10月15日 27名

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ			
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1			・実際に見学した時に確認しました。	支援室は基準以上のスペースを確保して運営しています。室内でも運動遊びができるスペースがあり、夏には【アノネピック】という運動会を毎年行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16			2	・しっかり見てくれてます。	曜日によって利用登録者数は7～10名ですが、欠席者が出ますので、1日平均7.0人です。1日の職員は6名配置して支援を行っています。ぜひ見学にお越しください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				・1階、2階で目的別の部屋が区別されていてわかりやすい。	支援室は活動に応じてテーブルや椅子等で仕切っています。子どもたちに伝える情報は、絵や完結な文字表現で、できるだけ目でわかるようにして掲示しています。また、毎月のおやつ作りや工作の手順説明は映像を使って興味を持って取り組めるようにしています。また、時計を見る習慣のないお子さんには手元に時計を置き、タイマーで知らせたり、タブレットでタイマーをセットして終了時間などを知らせています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1			・広いスペースでおもちゃや本等があり、心地良く過ごさせています。	衛生面では日々の清掃は開所当時より、次亜塩素酸水を使用して行っています。放課後はひとり一人が自分自身の大好きな遊びを通して学校の疲れを癒し、リフレッシュする余暇活動は大切な時間と捉えています。「心地よく過ごせる環境」は個々に違っています。ひとりで没頭する遊び、集団で楽しむ遊び、どれも自分自身で決めた遊びの現場こそが、その子にとって最高に心地いい空間ということになると考えています。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3			・いろいろ考えてくれて満足です。	あのねの家では、これまでは1職員として機能訓練担当職員（OT/PT/ST・5年以上の経験のある児童指導員等）を配置してきましたが、今年度から機能訓練担当職員による専門的支援の実施が制度的に可能になり複数人に専門的支援実施計画を実施してきました。また、全体活動プログラムの随所で専門性を生かした内容で取り組んできました。次年度は保護者様にそのことをよりわかりやすくするために、全員の個別支援計画の中に家族相談支援や専門的支援の実施を明確に位置づけ、実践してまいります。	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1			・内容をしっかり説明してくれて合っています。		
7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	4		1	・細かく説明してくれ ます。 ・よく考えてくださった内容です。	子どもひとり一人の発達の様子を職員全体で共通認識にするために毎月2～3回の全体ミーティングでモニタリングを行っています。 子どもたちは子どもの権利学習や子ども会議を繰り返す中で、徐々に自分自身の気持ちを言葉にできるようになっています。自分で考えることに慣れていない子もいますが、様々な場面で「どうしたい？」の問いかけをするようにしています。 個別支援計画の見直し前には発達状況も考慮しながら、可能な限り子どもの希望や意見を聞き取り、職員の思いも伝えながら、目標のすり合わせをしています。ご家庭で過ごしている姿とは違う面が多々あるのでは・・・と感じています。本人の希望と保護者の方の思い、そして支援者としての見立てが、それぞれに異なることも当然出てくると考えています。放デイで見せる姿は一面ではありますが、大事な側面であるかと思っています。 今後も継続して、学校やご家庭での様子や困り感を伺い、放デイでの日頃の様子をお伝えしたうえで、丁寧なすり合わせを行いながら個別支援計画を最終決定していきます。	

適切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	3		2	<p>・子どものことをよく理解してくれています。</p> <p>昨年から掲示物や分かりやすい動画を活用して「子どもの権利学習」を始めました。こども会議で活動プログラムを話し合う場を設定したり、日常的にもひとり一人の気持ちや意見を聞きながら、自分で考え、選択することや自己決定していくことを積み重ねてきています。それらを踏まえて個別支援計画見直しに向けては個別に本人の希望を聞きながら、施設からの提案も踏まえて話し合う時間を持つようにしています。</p> <p>「本人支援」についてはお子様自身に意見を聞いて、職員全員でひとり一人のお子様のモニタリングを行っています。本人の意見とご家族の意見が違っていることもございます。</p> <p>あのねのお家での様子とご家庭での様子は違っていると思っています。ご家族から見える困りごととのすり合わせが不足していると「どちらともいえない」というご意見をいただくのだろうと考えます。今後は「家族支援」の充実に向けて家族相談の機会を増やししながら、支援内容のすり合わせを丁寧に進めてまいります。</p>
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1	<p>日々の支援の様子はサービス提供記録でお伝えしています。保護者のみなさまからのコメントをお寄せいただいています。もし支援内容についての記述がわかりにくい、気になることがあるなどご意見等がございましたら、ぜひコメント欄でお知らせください。連絡事項のページでお返事してまいります。随時ご相談もお受けしていますので、お申し出ください。</p> <p>また、支援中の見学はいつでも大丈夫です。お子様の施設での様子をご覧ください。外出活動もありますので、時間などお問い合わせの上お越しください。</p>
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3			<p>・いろいろなイベントがあって、親も「こんなイベントあるんだ！」と楽しくなります。</p> <p>・子どもにどこに行きたいか等を聞いて工夫されている。</p> <p>月間プログラムの中では《今月のおやつ作り》週と《今月の工作》週があります。ひとり一人取組の習熟度は様々ですが、スモールステップのお子様の場合は「最初の日は戸惑いながら、二日目はスタッフの手伝いがなくてもできるようになり、3日目には友達にも教えられるようになる・・・」を目指しています。体験回数が増えることで理解が深まり、自信にもつながります。</p> <p>年間プログラムの中でも同じようなプログラムと思われるかもしれませんが、ひとり一人の成長・発達の様子が違っていますので、慣れた活動であってもその都度達成目標は違っています。特に外出の場合は、地域での生活をイメージしながら自分で決めて（判断して）安全に行動できる力の獲得を目指しています。</p>
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	4	3	<p>・学童クラブに通うお子様が少ないため特別な交流は行っていませんが、施設開放型地域交流イベント「桜まつり」「ゆめ水族園」へのご案内をしています。</p> <p>・児童館は地域の子どもたちが多く集まるため、混雑していることが多く、過敏な子どもにとってはストレスに感じてしまいます。希望を聞き利用日がかかり限られてしまっているのが現状です。</p> <p>・放デイの子どもたちやスタッフ同伴で身近な地区に出ていくことを好まない子どもたちの意見も取り入れた活動を組み立てています。</p>
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	2			<p>・運営規定は2024年度の1年間は児発と放デイの一体型に切り替え、改定版を玄関ホールに掲示しています。職員配置など現場の支援体制は規模別のまま特に変更はございません。</p> <p>・プログラムは毎月のおたよりの他に企画については別途詳細をお知らせしています。支援プログラムとしてHP及びHUG上で見ていただけるようにしました。</p> <p>・利用者負担については2024年度の一体化で変更になっていますので、紙ベースでの配布とともに、HUG上でもお知らせしました。また個別支援計画のご説明とお伝えしてきました。曜日ごとのイベント活動の費用負担については、事前に内容と併せて利用者負担等についての説明書を配布し、参加申込をいただいています。</p>

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	2		1	・個別支援計画の面談ではモニタリングの報告と個別支援計画原案をもとに支援内容のご説明を行い、変更希望があればその場で修正し、本計画としたうえで署名をいただく流れを基本としております。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	1	・いろいろなイベントを実施してくれています。 ・家族向けとしては保護者会の機会に中学生の先輩ママ2名を講師に迎え、中学校の選択の参考になるお話や子育ての内容なども盛り込んだお話をいただきました。 ・ペアレントトレーニングとしては現在開催できていませんが、家族支援に資する内容のイベントなどについての情報提供はペーパー配布と掲示で行っています。 ・コロナ以前のように集合型の講師を招いた研修よりWEB研修が中心となっておりますが、今後も情報提供に努めます。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2			・連絡アプリで報告がしっかりあります。 ・細かいところに気づいてくださり、本当にいつも頭が下がる思いです。 ・当日の様子はサービス提供記録でお伝えしています。HUG導入後は、保護者の方からのコメントも多くいただき、スタッフの励みとなっております。 ・保護者の連絡ページでは当日や前日の様子をお知らせいただいていますので、当日のかかわり方に大変役立っています。特に心身の成長が著しい思春期の子どもたちは、ご家族との共通理解が大切と感じています。 ・また、お迎えにいらしたときや送迎時などに直接気付いた点などお伝えするようにしています。担当者が別の送迎に回る場合には直接お伝え出来ないこともあります。申し訳ございませんサービス提供記録をご覧ください。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3			・定期的な面談は年2回を基本として行うこととしております。その機会に学校やご家庭の様子、お困りごとなどもお聞きしながら、一緒にサポートの方法を考えたり、必要に応じて助言等を行ってまいりました。 ・お迎えにいらした時などでもお話するようにしています。 ・また、年2回の保護者会でも、気軽に相談できるよう茶話会形式で行ったりしてきました。 ・お気軽にお声掛けください。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	3			サポートの方向性が保護者の方のお気持ちとずれてしまっている場合もあるかもしれません。施設で観られている子どもたちの成長・発達の段階を見極めながら、ご家庭での心配ごとなども含めて多面的に捉えなおし、保護者の方々のご心配やサポートの方向性について、より丁寧なすり合わせを行ってまいります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	8	1	2	・保護者会は開催されているが、きょうだい向けのイベントは無い気がします。 ・保護者会は年2回行ってきました。保護者交流の機会となるよう茶話会形式を取り入れ、悩みについてみんなで考えるなども行ってきました。また中学生を育てている先輩ママに講師となっていただき今後の中学校選択に向けて参考となるお話をいただきました。 ・「きょうだい向け」と限定しての開催はできていません。今後は土曜日企画にもきょうだい一緒に参加できるようにしたり、きょうだいだけの交流会が開催できるように検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	4		1	・前任者の時は窓口が分かりやすかったけど、今はだれが担当者なのかわからない。 ・児発管が不在になって以降は配置が遅れてしまい、分かり難い状態で申し訳ありませんでした。今年度は児発との一体型運営を行っていますので、相談窓口は管理者が責任者として、様々なご相談をお受けしています。お気軽にお声掛けください。 ・内容によっては機能訓練士など、適切なスタッフにつなぎ対応いたします。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			1	・HUG上で様々な連絡がスムーズに改善されたと捉えています。サービス提供記録のコメント欄や、連絡事項でのやり取りを今後も活用していきたいと思っています。 ・保護者の方への連絡は紙配布を削減していますので、確認をお願いいたします。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2			・過去の事業所評価がHPから削除されていませんか？	・HPについては大変申し訳ございません。制作会社の調査によるとバージョンアップの際にこれまでアップしてきた事業所評価以外にもお知らせ記事なども削除され、形式も変わってしまったことが分かりました。制作会社に復旧作業を依頼しています。 ・当面はHUGを活用しながら、お伝えしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			3		・紙ベースの会議資料はその場回収や、アルファベット記載にしています。 ・保護者のみなさまへの請求書・領収書等の発行書類もHUG上で確認できるように移行しました。 ・お子様が間違えて他児のハンカチや傘など取り違えてしまうことがあります。十分な声掛けを行っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		1	・マニュアルの内容は見ることがない	・いつでも確認できるように支援室内に掲示しています。また玄関にファイルを設置しています。保護者会等で紹介しています。 ・来所の機会がない方に向けては、新年度の新しい職員体制で担当者変更が整いましたら順次HUG上でご案内してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					・1週間連続開催し、年2回。地震・火災・水害など想定し、通報訓練も行っています。 ・稲城消防署には毎年1回消防車で来て指導をお願いしていますので、子どもたちも喜んで参加してくれます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					・毎年、安全計画を策定し、計画に従って点検や訓練等実施しています。 ・新しい場所への外出の際には、事前に職員が実踏し、確認を行うようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		2		・職員は応急処置を行い、管理者が連絡を受け状態確認と発生状況を確認し、保護者の方への連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1			・送迎を毎回しっかりしてくれるので安心してます。	・職員との信頼関係が安心の根底になると考えています。ご家族も含めた信頼に値するよう今後も務めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	4			・毎回、何をやるのかと楽しみにしていて、早く行きたいって言っています。	・前思春期～思春期に差し掛かる子どもたちは、大人の存在がうっとうしくなる時期でもあります。仲間との集団活動よりもパーソナルスペースを求めてきます。成長の課程ですので安心して自宅で過ごしたり、気の合う友達とのおしゃべりを楽しんだり、放デイとは違う友人関係も作れるようになってくれば、無理して通所する必要はないかなと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			・大満足です。 ・通えて良かったです。	・あのねのお家の支援プログラムは子どもたちの成長に伴って変化させてきました。年々成長を感じています。縦割りの年齢差もあり成長過程や速度は様々ですが、曜日ごとに仲間意識が育ち、上級生が下級生を気遣う姿に何よりもスタッフが喜びを感じています。